

京阪園芸株式会社

2015年3月16日

発信元：京阪園芸株式会社
〒573-0061 大阪府枚方市伊加賀寿町1-5
TEL 072-844-1134 FAX 072-844-3926
<http://www.keihan-engei.com/>

大津市柳が崎湖畔公園（琵琶湖大津館を含む）指定管理JV（琵琶湖汽船・京阪園芸）では、来る3月23日（月）同館長による“ヘレンケラーの桜”除幕式を行います。このしだれ桜はヘレンケラー氏が戦前の1937年（昭和12年）に来日し、同館の前身である（旧）琵琶湖ホテルに宿泊した際に記念植樹したものをルーツに持ち、今般京阪園芸の樹木医・武石誠一が再生復活させたものです。

○ 樹木医 武石誠一の語る“ヘレンケラーの桜”継承物語”

▶平成11年の琵琶湖ホテルの移設に併せて対岸に移植された同桜（戦前に来日したヘレンケラーが植樹したもの）が経年で枯れてしまったが、武石は京阪園芸がある枚方の本社圃場に、念のため移植の際に接ぎ木をして子孫を残しておいた。

▶8年後の平成20年、上記の子桜を再度対岸の同ホテル用地に再植樹。

※この時も武石は孫桜として接木苗を残しておいた。

▶今般、その孫桜を同地に復活させ、対岸の2代目と併せ、3代目として、ヘレンケラー氏の魂を継承させ、その想いを後世に伝えていく。



・樹木医 武石誠一とヘレンケラーの桜

除幕式は以下の通り。

日時：平成27年3月23日（月）午前10時から

場所：琵琶湖大津館前

除幕：琵琶湖大津館長 他関係者



・ヘレンケラー氏と滋賀県及び旧琵琶湖ホテルの歴史



・旧琵琶湖ホテルで最盛時の「ヘレンケラーの桜」

この件に関するお問合せ先は京阪園芸株式会社 販売部・巖野嘉明（いわの よしあき）までお願いします。
代表 TEL 072-844-1134 FAX 072-844-3926 E-Mail: y-iwano@keihan-engei.com

“ヘレンケラー” プロフィール

アメリカの女性社会福祉事業家。

生後 19 ヶ月で熱病のため目と耳の感覚を失ったが、7歳からサリバン先生の献身的な教育を受け、盲・聾・啞の三重苦を克服していった。

国内外を講演旅行し、盲・聾・啞者の教育、福祉事業に献身。

「わたしの生涯」など多数の著書がある。

1937年、1948年、1955年の3回来日し、第1回目の来日時に彦根、大津など滋賀県を訪れ琵琶湖ホテルに2泊した。

1955年には勲三等瑞宝章を受章している。

1回目の来日時に、旧琵琶湖ホテルにて女史が植樹した しだれ桜 は「ヘレンケラーの桜」として有名だったが、平成 11 年に惜しくも枯れる。

“武石誠一” プロフィール

高知市唐岩の兼業農家で3人兄弟の末っ子として生まれる。幼いころから自然は身近にあり、自然豊かな土地を毎日駆け回る日々を送る。

行川小、中学校から(県立)園芸高(現春野高)を経て1972年に京阪園芸に入社。3年ほどで高知に帰り、親戚の花づくりを手伝うつもりが造園業に魅せられていく。

鉄道系造園会社である京阪園芸は造園業やバラなどの花卉販売で関西トップクラスであり、樹木医は1991年の制度化以降、一般にも浸透してきた。

1997年に2割程度の合格しかないという一発合格で資格を得た。

過去に門真市の三島神社にある薫蓋樟(くんがいしょう)の治療ほか、現在 平等院(宇治市)の藤棚の樹勢回復も手掛けている。

2010年大阪府から「なにわの名工」表彰受賞。62歳